

兵高教組
調査情報
 2017年4月25日 **3号**

兵庫県高等学校教職員組合調査部
 TEL : 078-341-6745
 FAX : 078-351-3185
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

**学校現場は、教職員一人ひとりの
 子どもたちへの強い思いによって成り立っている**



4月18日(火) 第1回教育長交渉

4月18日(火)に女性交流館501号室に於いて教育長交渉が行われ、高教組・従組から18名が交渉に臨みました。

**教育環境と勤務条件の改善は
 教育委員会にしかできない大切な仕事**
 高教組 小野委員長あいさつ

この4月、現場に戻って感じたことは、当たり前のようにきれいに整備された芝生、当たり前のようにおいしい給食…。子どもたちの周りにはいろんな職種の教職員がいるが、この当たり前の光景は、教職員一人ひとりの子どもたちへの強い思いによって成り立っていると改めて実感した。

しかし今、教育をめぐる政府は、国民主権とは真っ向から対抗する「教育勅語」を憲法、教育基本法に反しなければ教材とすることまでは否定しないという閣議決定した。教

育を権力の道具としているのではないか。許せないと感じる。

子どもたちをめぐる状況も深刻だ。高校生への就学援助で、今年も切実な声が寄せられている。先日、兵庫労連の要請行動で、「給付型奨学金の創設を」と求めたところ、県教委は「必要性が低い」と回答した。子どもたちの状況に心を寄せてほしいと思う。

冒頭、子どもたちの前にはたくさんの教職員がいると言ったが、もちろん、教育委員会事務局の皆さんもその一員だ。そして、子どもたちの教育環境、教職員の勤務条件の改善という大切な仕事ができるのは、教育委員会において他にはない。教職員組合と教育委員会、立場は違えども、子どもたちの成長を真

ん中において、教職員が安心して働ける職場をという方向性は同じだと信じている。今年度も信頼を積み上げて、子どもたち、教職員の幸せのために奮闘する決意である。

**「新規採用試験の再開を」
 中本従組委員長あいさつ**

技能労務職員の採用試験が10年も実施されていない。この間、県教委は退職不補充、定数削減を続けてきた。生徒数が減っても我々の仕事は減らない。新規採用試験の再開を強く望む。私たちが先輩から引き継いできたノウハウを若手職員へ引き継げるよう、ぜひ検討を願いたい。

**特別支援教育に関する要望
 佐和副委員長**

西神戸特別支援学校の開校に感謝している。学校ができることによって、その地域が活性化していく。学校づくりは地域づくり、学校と地域が密接につながっていくこと、子どもたちを地域で大切にされること、こういう社会をインクルーシブな社会というべき。

**年度当初の要望
 綿中書記長**

昨年度は、臨時教職員の待遇改善の点で大きな前進があった。残る問題は「空白の一日」の解消。踏み込んだ解決策を期待する。

超勤縮減の新しい「推進プラン」が出るが、プランを出すだけではダメ。実際に現場で生かされることが大切。今後も協議しながら、実効性のある解決策を探っていきたい。

県「行革」による賃金削減は、昨年の人事委員会勧告でも廃止に向けた取り組みを強く要請され、当局も「重々受け止めている」と回答した。全国で兵庫県だけ、しかも10年目。いつまで続けるのか。

**従組からの要望
 只政従組書記長**

今、正規の校務員は約170名、平均すると1校に1人しか正規がいない。昨年、寮のある学校の調理員の待遇改善が実現したが、これは突き詰めると人が減ったから生じた問題。やはり、人を増やすことは重要。

これまで通り、誠意をもって対処していきたい 高井教育長あいさつ

従来の労使慣行を尊重するとともに、相互理解を深めながら、誠意をもって対処していきたいと考えています。

**臨時教職員の集い、あなたもぜひ!
 2017採用をめざす学習会**

教職教養対策講座や、願書作文対策講座など、豊富なメニューと「面接試験情報」など貴重な資料も用意しています。是非お誘いあわせの上、ご参加ください!

(できるだけ事前申し込みをしてください)

日時 : 5月7日(日) 13:30 ~ 16:45
 場所 : 兵庫県私学会館(JR・阪神元町駅東口徒歩2分)
 資料代等 : 300円